

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第4回 豊島区商工政策審議会
事務局（担当課）		産業観光部 産業振興課
開催日時		令和8年8月25日（火） 10時30分～11時13分
開催場所		豊島区役所 としまセンタースクエア
議 題		1. 開会 2. 議題 豊島区産業振興指針 答申について 3. 答申式 （1）開式 （2）答申 （3）区長挨拶 （4）閉式 4. 閉会
配布資料		《資料》 資料 豊島区産業振興指針 答申書 《参考》 参考1 としまみらい産業パーク 出展募集のご案内 参考2 ビジサポセミナーチラシ
公開の 可否	会議	公開 傍聴人数1人
	会議録	公開
出席者	委員	郭 洋春、鴨田 和恵、井上 里絵、藤川 盛弘、千野 富久、鈴木 但、 大澤 豊、加藤 容子、森本 記代、金子 実和子、佐藤 徹明、前原 一仁、 渡邊 圭介
	その他	産業振興課長
事務局		産業振興課

審議経過

【開会】

産業振興課長： おはようございます。定刻となりましたので、第4回豊島区商工政策審議会を開催いたします。本日はお忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の資料につきましては、次第の下の方に記載しております。不足がある場合にはお近くの職員までお申し出ください。

また、本日は、議事録作成のため、AIを活用した録音機材を会場に置いております。録音された音声データは、暗号化された上で外部のクラウド環境に転送されますが、個人情報など重要部分の発言は控えていただくようお願いいたします。

それでは、議題に入ります前に、会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。会長、よろしくをお願いいたします。

会長： 皆さんおはようございます。本日は第4回目の豊島区商工政策審議会の開催となりました。皆様のご協力によりまして、区長に提出する答申が無事完成しまして、後ほど区長にお渡ししたいと考えております。豊島区は現在、新たな産業政策の下に、これからの10年後、20年後を見据えた新たな豊島区を創造しているところでございます。そういった意味でいいますと、今回の商工政策審議会でも議論していただきました内容が未来の豊島区に反映できるようなものになっていると自負しております。

もう一方で、つい先日、豊島区も1時間で100ミリを超える大雨があったと聞いております。また、1ヶ月前には、熊本での大震災があり、今でも多くの方が被災されております。そういう状況を見ますと、やはりこれからは防災に強い豊島区、そして女性や社会的な弱者に優しい豊島区、そして外国人労働者も働きやすい豊島区ということで、まだまだ様々な課題が山積していると考えております。

今回の商工政策審議会は、本日で終わりになりますけれども、引き続き、次年度以降も様々な形で皆様にご協力をいただければと思いますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

産業振興課長： ありがとうございます。それでは、これより議題に入らせていただきます。以降の進行につきましては、会長に引き継がせていただきます。会長、よろしくをお願いいたします。

【議題】

豊島区産業振興指針 答申について

会長： まず議題に入る前に、会議の公開についてお諮りしたいと思います。本日も審議いただく内容につきましては、多くの市民の皆様にご理解いただくため、会議および会議録を公開したいと考えております。豊島区では審議会などの会議は原則として公開しており、これまでの会議および会議録も全て公開してまいりましたが、今回もそのような形で進めたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

～一同賛同～

ありがとうございます。なお、会議録の公開につきましては、個人が特定されないように事務局には格段の配慮をお願いしたいと思います。

では、続きまして、傍聴者の確認をさせていただきたいと思います。事務局、いかがでしょうか。

産業振興課長： 本日は傍聴希望者が 1 名でございます。

会 長： はい、わかりました。では、傍聴者の方にお入りいただければと思います。よろしくお願いいたします。

～傍聴希望者入室～

それでは、議題に入る前に、本日の流れについてご説明させていただきます。まずは、これまで皆様と一緒に作り上げてきました豊島区産業振興指針の答申書の内容につきまして、事務局より改めてご説明いただき、最終確認したいと思っております。その後、高際区長が到着次第、答申式を執り行いたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、早速議題に入らせていただきます。今回の議題は豊島区産業振興指針答申についてということでございますので、まずは事務局より説明をお願いいたします。

産業振興課長： （議題について、資料を基に説明）

会 長： はい、ありがとうございました。委員の皆様、この内容で問題ないでしょうか。

～一同賛同～

それでは、この内容で答申させていただきたいと思います。ありがとうございました。

それと、委員の皆様には、これまでの 2 年間、豊島区産業振興政策の推進につきまして、多大なるご尽力をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。このメンバーでの審議会は本日が最後になりますので、最後に皆様より一言ずつご挨拶いただきます。それぞれの立場で感じたことや、今後の産業振興施策について忌憚のないご意見をいただければと考えております。ただ、この後、答申式を控えておりますので、申し訳ないですけども、お 1 人 1 分程度でお話をしてください。

委 員： 2 年間参加させていただきまして、豊島区のいろいろ抱えているもの、さらにこれから発信していくべきものというのを非常によく学ばせていただいたと思います。消費者団体連絡会としましては、消費者の立場から色々な審議をしているわけですが、そこからさらに一段階上がったところで、皆様のご意見を伺って勉強させていただきました。ありがとうございました。

委 員： 皆様、2 年間本当にありがとうございました。皆様とお話しさせていただくにつれ、地元企業の皆様が抱える切実な課題を、会社としても深く理解できるようになり、大変勉強になりました。特に、答申の「4. 持続可能な発展に向けた地域ブランディングの強化」に関しましては、私も豊島区民でありますので、常々重要だと感じておりました。ブランディングの強化をすることで、最終的に住んでいる皆様が誇りを持つということがとても大切だと思いますので、その強化に向けて我々も及ばずながらお力添えできればという思いでおります。2 年間ありがとうございました。

委	員： 2年間ありがとうございました。皆様との討議を通じまして、これからの社会で活躍する人材を預かっている学校教育の現場立場としては、学生世代と、皆様の世代、あるいは様々な働き方をされている方との接点をいかに教育の中で作っていくかということをととても考えさせられました。また、自治体の皆様が取り組んでいらっしゃる施策を、学生は知っているようで知らないもので、そういった場面をどうやって教育の中に取り込んでいくか、あるいは皆様から力を借りて実現していくかということを強く課題として感じた会でございました。これからも皆様のお世話になると思いますけれども、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。
委	員： 2年間ありがとうございました。私は自分のやっている会社の立場で審議会に参加をさせていただいたので、本当に自分事としてこの答申に向き合ってきたつもりです。来年以降、区のやられる経済政策や産業振興がどう変わっていくのか、とても楽しみだと思っております。
委	員： 2年間どうもありがとうございました。私は、普段は中小企業の支援ということで、中小企業向けの支援施策はよく触れている分野ではあったのですが、今回参加させていただいたところで、住んでいらっしゃる方や消費者の方など、産業というものについて、広い側面からご意見をお聞きすることができて、大変勉強になりましたし、自分自身の視野を広げることもできたと思っております。今後も豊島区の施策推進にご協力していければと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。
委	員： 2年間ありがとうございました。豊島区といっても皆さんピンとこない、池袋といえばピンとくるというところがあるので、今後、「豊島区イコール池袋」というところを宣伝し、認識を強めていっていただきたいと考えています。
委	員： 委員任命当初は、感染症から始まってすごい時代だったと思います。現在もAIの普及や人口減少など、時代が激しく、ものすごい勢いで変わっています。そういう中で、バイブル的な素晴らしい答申書がまとまったのではないかと思います。こういうものがあれば、苦境が訪れても、豊島区は大丈夫なのかなと思っております。私も後期高齢者なので、ちょうどいい節目で審議会とお別れになるわけですが、今まで勉強させていただいたことは、別のフィールドでも生かしたいと思います。我が街、豊島区をよろしくお願いしたいと思います。本当にありがとうございました。
委	員： 2年間ありがとうございました。審議会委員になり、調べたことがあるのですが、豊島区には、経営基盤支援が多くあるということを本当に改めて感じさせていただきました。これらの認知度を上げて、豊島区の企業が活用すると、さらに企業が良くなるのではないかと思います。社員の基本給を3%以上上げると補助金が出るという豊島区の制度がありまして、私の会社もつい最近、それを申請させていただいております。このような制度がさらに豊島区の企業に周知されてほしいと思っております。2年間ありがとうございました。
委	員： 2年間、豊島区商工政策審議会委員を務めさせていただきまして、ありがとうございました。

ました。審議会で議論していく中で、豊島区の皆さんが豊島区の産業の発展のために頑張っていたいているということは改めて感じたところでございますし、様々な関係団体の皆さんも一緒に頑張っているのだなと強く感じたところでございます。我々、中小企業家同友会は規模としては小さい方にはなりますけれども、引き続き区の中で色々ご協力申し上げて、存在感を増していきたいと考えております。また、答申の「4. 持続可能な発展に向けた地域ブランディングの強化」で取り上げている地域経済の持続的な発展というのはやはり重要なところでございまして、やはりそのためには、キーとなるブランドを作るというのは非常に大切なことかと思えます。そこについてしっかり挙げた形で答申書をまとめられておりますので、審議会が終了した後も引き続き協力していきたいと思っています。我々も地域社会の一員として貢献するという姿勢を持っていかなければならないとは思っていますので、ぜひそういった観点で我々の団体もご活用いただければと思います。私、個人としても任期が終わってもいろいろ協力申し上げていくつもりでございますので、引き続きよろしく申し上げます。2年間ありがとうございました。

委員： ありがとうございます。商店街連合会としては、色々なイベントや商品券など実施しておりますので、それも持続しながら、地域との関係や人と人とのつながりを強くしていくことを行い、時代が変わっていくことを意識しながら、前進して、皆さんが楽しく過ごせるような、明るく、生き生きとした、新しい街づくりを、商店街を生かしながら考えていけたらと思っております。色々どうもありがとうございました。

委員： 皆様方、2年間審議等でご協力いただきましてありがとうございました。産業振興指針策定にご尽力いただきまして、今回の委員の皆様にはその指針が順調に進んでいるのかということと、今後の展望ということを中心に色々ご意見、ご議論をいただいたと認識しております。本当にありがとうございました。区の産業関連の部署は、今まで文化商工部という形で組織がございましたけども、産業により特化して力を入れていくという区長の方針があり、昨年度から文化商工部は産業観光部へ、そして課も、生活産業課から産業振興課に変わりまして、より中小事業者の皆様方のお役に立てるように支援していこうという決意を持ちまして進めてまいりました。今年度は予算の重点的な柱として「産業」を掲げまして、特に「としま賃上げ促進支援金」やビジネスサポートセンターのリニューアル、そして創業支援をより良く、よりスピード感を持ってやっていくための様々な取り組みをしてまいりました。ご承知のように、今、経済は生き物のように目まぐるしく変化をしております、都度フェーズが変わっていくというような中で、どのような支援が区として必要なのかということを職員と一緒に考えてまいりましたが、なかなか私たちの中だけでは方向性が固まりきれないところがございました。やはりそこには、区内の事業者がどのような悩みを抱えているのかというのを、直接聞く機会を設ける必要がございました。ただ、全ての事業者にそのようなお声をいただくというのはなかなか難しいところがございますので、この審議会や各団体を通じて様々なご意見を伺いながら、産業政策というものを構築してまいりました。今回の答申も幅広い観点でまとめていただいたと認識しておりますし、これからはやはり従来の事業者支援とともに、人材の確保や多様な人材の活躍などにもしっかりと焦点を当てながらやっていかなくてはいけないと感じているところでございます。まだまだ

サポートとして行き届かないところ等ございますけども、今後も皆様方からのご意見やアドバイスをいただきながら、区内の事業者がより良い経営ができるような形でしっかりと産業振興を進めていきたいと思っております。

委員： 2年間皆様にお世話になりましたありがとうございます。私は小規模事業者のお客から直接声を聞いて、やはり現在は、円安、物価高、答申にあるように人手不足、それから、事業所のデジタル化の遅れなどの悩みが本当によく耳に入ってきます。喫緊の課題と考えておりますので、それらを答申に入れていただいたのはとてもありがたいと思います。また、事業者支援については、やはり周知が重要かと思います。区の助成金を知らない方も結構いますので、周知をより強化していければと思っております。ありがとうございました。

会長： どうもありがとうございました。皆様方のご意見を伺って、私も2年間感じたのは、豊島区が行っている様々な産業振興施策っていうのは、日本の縮図を表しているような印象を受けております。まさに豊島区がやってきた、あるいはやろうとしていることが、今、日本全体の課題にも実はなっているというように感じます。特にその中で非常に大きいのは、今回の答申の中にもありますけれども、豊島区の場合には、いわゆる日本の企業の99.7パーセントを占める中小企業をどうやって継続、あるいは発展させていくのか。また、やはり現在人手不足が叫ばれておりますけれども、単なる人手不足がどう解消するかというよりも、人手不足が進んでいく中で、それに代わる新たな代替措置をどのように取っていくのか。あるいは、これからの社会を考えると、AIをはじめとした新たなビジネスをどういった形で創造していくか。最終的には地域の活性化の大きな基盤となるブランディングを、どうやって高めるのかと。これらはすべて、あらゆる地域で日本全体が抱えている問題に非常に直結しているわけで、豊島区の場合には、それらをわずか2年間という短い期間で答申という形にまとめ上げたというのは、素晴らしい成果ではないかと考えております。

それができましたのも、本日参加されている皆様がそれぞれ違う立場、バックグラウンドを持って、それぞれの立場から様々なご意見を提示していただけることが、多角的で生産的な議論につながっているのではないかと、考えております。議員を批判するつもりは全くありませんけれども、日本の国政、国会がなかなか進まないのは、特定の立場から特定の意見しか出ないようなことが多いがゆえに、多角的な立場の意見がなかなか出にくいというところがあるのではないかと考えております。ですから、今回できましたこの答申が、単に豊島区で終わるのではなくて、他の地域から見ても、これを自分の地域でも取り入れて、より発展させたいという一種の豊島モデルとして、もっと多くの地域に、23区だけではなくて、47都道府県すべてに発信していける、そのような一つのきっかけになったのではないかなと考えております。私の好きな言葉に、「一隅を照らすはこれ国の宝なり」という言葉があるのですが、これは世の中で大上段に構えて色々なことをやるのではなくて、世の中の片隅でやっていることに焦点を当てて、それが世界全体を見渡すというところにつながっていければ素晴らしいものになるという意味で、まさに豊島モデルはそういったものになる大きなきっかけになるのではないかと考えております。

【答申式】

(1)開会

産業振興課長： これより豊島区産業振興指針答申式を執り行いたいと思います。次第に記載の流れに沿って進めさせていただきます。

それでは、早速答申に移りたいと思います。豊島区商工政策審議会を代表し、郭会長より答申いただきたいと思います。恐れ入りますが、郭会長と高際区長は前方にご移動をお願いいたします。

(2)答申

会 長： 令和6年度・令和7年度の区産業振興関係事業の進捗状況については、指針の方向性に基づき着実に取り組まれることは把握しております。しかしながら、急速な技術革新や物価高騰、深刻化する人材不足など、中小企業を取り巻く環境は厳しい変化の渦中にあります。今後は、デジタル技術の社会実装に対応した業務の展開や、多様な人材の活躍による新たな価値の創造が強く求められています。また、区の持続可能な発展に向けては、民間主体のイノベーションを誘発するとともに、豊島区ならではの産業の魅力を区内外へ戦略的に発信し、都市のブランド力を高めていく必要があります。金融機関、大学等、民間主体との連携促進を前提として重点的に取り組むべき事項につきまして、短期・中期・長期的観点から以下の通り要望いたします。

1、中小企業への経営基盤強化支援。これは短中期的な課題でございます。区内中小企業が不透明な経済環境を生き抜き、持続的な成長を遂げるためには、伴走型の支援体制をさらに強固にする必要があると考えております。

2つ目、これからの産業を支える人材支援。こちらも短・中期的課題でございます。こちらは若年層が区内中小企業の持つ優れた技術ややりがいに触れる機会を創出するため、企業と学生の交流等を通じて、若年層と中小企業の交流を強力に促進し、地域産業への理解及び将来的な人材の確保、定着を図っていただきたいと思います。

3つ目、多様な起業家の創出とスタートアップによる区内経済の活性化。こちらは中長期的な課題でございます。こちらにつきましては、豊島区ならではのスタートアップ企業集積に向けて、引き続き効果的な施策を検討していただきたいと思います。

最後4つ目ですけれども、持続可能な発展に向けた地域ブランドの強化、こちらは長期的な課題と考えております。豊島区の多様な魅力を活かした地域経済の持続的な発展を目指し、区内産業の経済的価値と発信力を高める地域ブランディングを強力に推進していただきたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

(3)区長挨拶

産業振興課長： 続きまして、豊島区長より委員の皆様にご挨拶を申し上げます。高際区長、よろしくお願いいたします。

区 長： 会長はじめ、委員の皆様、お忙しい中、本日もお運びいただきましてありがとうございます。今、皆様方の期待と想いのこもった答申を頂戴いたしまして、非常にやる気が湧いております。

産業振興については、これまでももちろん、豊島区の基本構想・基本計画の大きい柱

にありましたけれども、社会の経済環境もどんどん変わっていく中で、基本構想・基本計画の柱に置きながらも、どんなことをやるのが本当にお役に立てるのか、真の支援になれるのかということ、部長、課長、係長、担当とともに、何年も悩んできたところでもあります。今、担当係長から、この商工政策審議会の皆様には、様々な実態を踏まえつつ、夢のこもったご意見をいただくことができ、昨年いただいた意見を今年度の新規拡充予算に盛り込むことができたということを改めて報告を聞きながら会場に参りました。

豊島区では、令和8年度の重点テーマとして3つ掲げておりまして、「福祉」と、保健所が移転した「健康」、そして「産業振興」を勝負の思いで置きました。今までなかなか十分と思ってなかった故に、覚悟を持って今年度の重点取り組みテーマに「産業振興」を置いたところでもあります。委員の皆様からのご意見も十分いただいた上で、ビジネスサポートセンター少しずつ変わっております。DX専門の補助金や相談員を設置したほか、23区では初めて、かつ、唯一の賃上げ支援を始めました。また、豊島区らしい人と人のつながりを重視した起業・スタートアップ支援も強化して取り組んでいるところであります。

一方、経済環境がまだまだ厳しい中において、来年度予算もそうですが、今年度の下半期に何をすべきなのかというようなことの検討も行っております。今も答申でありましたけれども、やはり中長期的なことで人材育成だったり、今の豊島区のキラコンテンツであります漫画・アニメなどをもっと活用して、区民や事業者に楽しんでいただきながら産業が回っていく、そうしたことができないかななどを検討しております。こうした検討の根拠として、この商工政策審議会の委員の皆様からもたくさんご意見をいただいているという報告を聞いております。2年間、お忙しい中お力をいただき、産業振興をどうしていこうかと、私たちがまさに一番悩んでいる時期に、委員の皆さまよりリアルなご提案やご意見をいただいたことが、どれだけ私たちの背中を押してくださったか、言葉では言い表せないくらい本当に感謝をしております。少しずつではありますけれども、街に出た際に、「事業者支援が良くなったね」、「あれやってくれて助かったよ」というようなお声をいただくようになりました。本日いただきました答申をしっかり踏まえて、来年度の新規拡充予算、あるいはすぐにやるべきことは、補正予算を組んでも今期の下半期活かせるように、答申を熟読しながら取り組んでまいりたいと思っております。

私たちが一番悩み、一番進めていきたい産業振興において、郭会長をはじめ、鴨田副会長、委員の皆様には、心から御礼を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきたいと存じます。答申については決して無駄にせず、生きた形で来年度の予算に反映をしてまいりたい、このように思っております。本当に2年間どうもありがとうございました。厳しくも温かな絶大なる応援団と思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(4) 閉式

産業振興課長： ありがとうございます。これにて豊島区産業振興指針答申式を閉式いたします。この後の進行につきましては、再度、郭会長にお戻しいたします。

【閉会】

会 長： ありがとうございます。それでは、事務局から連絡事項等ございますでしょうか。

産業振興課長： 例年、各団体の皆様にもご協力いただいております「としま MONO づくりメッセ」を、今年度より会場、名称を改めてリニューアルするということになりました。新名称が「としまみらい産業パーク」となります。出展募集を9月1日より開始いたしますので、リーフレットをお配りさせていただいております。なお、表紙の右下の二次元コードは公式ホームページにつながる予定ですが、ホームページ自体は9月1日からの公開となりますので、ご参照いただければと思います。この「としまみらい産業パーク」ですが、今までサンシャインシティで行っていた「としま MONO づくりメッセ」を、より池袋駅に近く、区有施設でもある、としま区民センターと中池袋公園に会場を移して開催となります。近くには Hareza 池袋もあり、若者も多く集まる場所ですので、この会場で若者に豊島の産業に興味を持っていただくようなイベントができればということで、実行委員会にて検討を行いました。ぜひ、来年2月は会場へ足を運んでいただければと思います。

続きまして、次の資料としまして、日本政策金融公庫様と共催のビジサポセミナーのご案内になります。SNS 活用のセミナーになりますので、ご興味のある方は事前申込みの上、ご参加いただければと思います。

最後に今後のスケジュールについてですが、9月8日をもって皆様の委員としての任期が満了となります。次の委員改選につきましては、令和9年度後半に実施予定でございます。新たな委員で産業振興指針の改定に向けて議論を締めてまいりたいと思います。

【閉会】

産業振興課長： 以上をもちまして、第4回豊島区商工政策審議会を閉式いたします。ありがとうございました。